

～せと市民総ぐるみ防災訓練～
令和7年度瀬戸市総合防災訓練実施要綱

1 訓練目的

この訓練は、災害対策基本法第48条及び瀬戸市地域防災計画に基づき、瀬戸市、防災関係機関、市民等が連携して、地震災害を想定した総合的かつ実践的な防災訓練を実施することにより、瀬戸市災害対策本部の体制強化及び市民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

また、今年度は、過去の総合防災訓練において実施した地震発生直後を想定した訓練に加え、発生から24時間が経過した時点を想定した訓練を合わせて行うことにより、より実践的かつ効果的な訓練とする。

2 訓練概要

南海トラフ地震の発生直後を想定し、市内の各地で市民による「安否確認訓練」、「避難所開設・運営訓練」等を行うと同時に、市民及び市役所庁舎に設置した災害対策本部が相互に「無線交信・情報伝達訓練」を行う。

また、上記訓練に加え、南海トラフ地震の発生から24時間が経過した時点を想定し、市内の各地で市民による「避難所運営訓練」等を行うと同時に、市役所内での「災害対策本部運営訓練」を行う。

各訓練フェーズにおいて、市民及び地域が主体的に立案する「協働参加型」の訓練を実施しつつ、防災関係機関による災害対応訓練や、情報機器ネットワーク等を利活用したDXの進展を見据えた実践的な訓練を行う。

3 開催日

令和7年11月16日（日）午前8時から

4 開催場所

市内各地

5 訓練想定

(1) 想定災害

南海トラフ地震（震度6弱観測）とそれに伴い発生する災害

(2) 訓練のフェーズ

地震発生直後及び発生から24時間が経過した時点

6 訓練参加機関（予定）

- (1) 瀬戸市
- (2) 瀬戸防火防災協会連合会（瀬戸市自治連合会）
- (3) 株尾張東部放送
- (4) グリーンシティケーブルテレビ(株)
- (5) 瀬戸旭医師会 ※瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会
- (6) 災害協定締結団体

7 各連区の訓練に向けた支援体制

各連区の訓練企画を防災安全課職員及び消防職員（地域防災担当）が主として支援し、訓練当日は地域防災支援員を訓練会場に派遣する。

また、全連区を対象に開催する研修等にて、防災対策についての理解を深める。

(1) 地域防災支援員

指定避難所に配備予定の職員が、各連区の訓練打ち合わせ等に参加しつつ、訓練当日には避難所の開設、運営等の訓練を支援する。

(2) 防災安全課職員、消防職員（地域防災担当）

地域防災支援員とともに各連区の訓練の企画等を支援する。

(3) 研修体制（せと市民防災塾）

災害時に地域で活動できる防災リーダーの育成及び市民の防災意識向上を目的とし、地域の防災関係者、自治会関係者、地域防災支援員、市民を対象とした防災研修を行う。

ア 日時

令和7年7月5日（土）午前9時30分から正午まで

イ 場所

瀬戸市文化センター 文化ホール

ウ 研修テーマ

災害時のトイレ対策について

8 総合防災訓練における想定する訓練フェーズ及び各フェーズにおける訓練の例

瀬戸市総合防災訓練		
想定する 訓練フェーズ	災害対策本部運営訓練 (市役所庁舎及び各施設)	地域防災訓練 (市内小中学校の体育館等)
地震発生直後	シェイクアウト訓練	
	職員安否確認・参集訓練	安否確認訓練
	無線交信・情報伝達訓練	
	災害対策本部設営訓練	避難所開設・運営訓練
		避難生活におけるトイレ対策訓練
地震発生から 24時間が経過 した時点	災害対策本部運営訓練	避難所運営訓練
	その他各部班による個別訓練	避難生活におけるトイレ対策訓練
		その他各連区における取組 (炊き出し、ペット避難、外国人避難者への対応等)

※上記内容の他、別日程で個別に必要な訓練を行う。

9 地域の防災訓練における訓練テーマ

令和7年度瀬戸市総合防災訓練において、次の項目を実施し、その評価を行う。

また、今年度は、過去の総合防災訓練において実施した地震発生直後を想定した訓練に加え、発生から24時間が経過した時点を想定した訓練を合わせて行うことにより、より実践的かつ効果的な訓練とする。

(1) 安否確認訓練（地震発生直後を想定した訓練）

安否札を活用した住民の安否確認や安否札未掲出世帯への「声掛け安否確認」の実施

(2) その他各連区における地域の実情に応じた取組等（内容によりフェーズが異なる訓練）

ア 避難生活におけるトイレ対策訓練

- ① 簡易トイレの試用
- ② 組立トイレの設置方法の確認
- ③ トイレスペースの区画設定

イ 避難所開設・運営訓練

- ① 避難所キット（※）の避難所カルテ等による安全確認
※ 「避難所キット」…避難所開設時に必要な避難所カルテ、開設・運営マニュアル等必要な資機材をまとめたもので、防災備蓄倉庫内に保管。
- ② 避難者の受け入れ
- ③ 防災行政無線（MC A無線）を活用する情報連携（無線交信・情報伝達訓練）
- ④ 避難スペースや活動スペース、物資の受け入れスペース等の区画設定
- ⑤ 感染症対策を踏まえた避難所運営
- ⑥ 防災資機材等を活用する避難所運営
- ⑦ 避難所運営人員の編成

ウ 避難行動要支援者等の避難行動支援

自ら避難が困難な住民（避難行動要支援者及び負傷者等）の避難行動を、地域住民が支援

エ ペット避難訓練

ペットの受け入れ、ペット避難スペースの区画設定、避難所におけるペットへの対応方法の検討等

オ 炊き出し訓練

カ 外国人避難者への対応

翻訳アプリの試用、避難所における外国人避難者への対応方法の検討等

キ 初期消火訓練

ク 給水訓練

ケ その他

10 瀬戸市災害対策本部における訓練テーマ

令和7年度瀬戸市総合防災訓練において以下の項目を実施し、その評価を行う。

また、今年度は、過去の総合防災訓練において実施した地震発生直後を想定した訓練に加え、発生から24時間が経過した時点を想定した訓練を合わせて行うことにより、より実践的かつ効果的な訓練とする。

(1) 運営訓練

「災害受信票」、「愛知県防災情報システム」、その他防災関係システム等の迅速・的確な運用に向けた実践的な訓練の実施

(2) 各部班における役割の整理

災害応急対策シート等を用いた本部事務局班との調整を経て、各部・班員が自身における役割について理解を深化

(3) 防災関係機関との連携

発災時における物資等の支援要請、避難施設の調整等について、連絡から受入までの体制確認

(4) その他各部班による個別訓練等

各部班ごとに役割が集中するフェーズを想定した、各種防災システムの入力訓練、初動対応マニュアル等を元にした図上訓練、給水車による給水等の実動訓練等を別途実施

11 訓練報告検証会

令和7年度瀬戸市総合防災訓練における各連区の取り組みのうち、先進的な取り組み等の事例や課題を、連区間で共有することを目的とする。

(1) 日時

令和7年12月11日（木）午後7時から（1時間程度を予定）

(2) 場所

瀬戸蔵 つばきホール